

**中学校部活動の段階的な地域移行にともなう「指導者バンクへの登録」に協力願います。**

文部科学省（スポーツ庁および文化庁）が中学校の部活動（運動部活動、文化部活動）について、段階的に地域での活動に移行していく方針を打ち出しました（令和4年）。まずは休日の活動について準備ができたところから順次地域移行し、最終的には平日の活動も段階的に地域へ移行していくという計画です（期限については未確定）。そのためには、生徒・保護者をはじめ地域の方々のご理解とご協力がなによりも大切です。また、指導いただく団体や関係者、とりわけ指導者の皆様のご理解とご協力なくして実現はありません。

雲南市でも、令和4年度より国のモデル事業を受け、地域移行に向けた検討を始めています。その事業の柱の一つが指導者バンクの整備（地域移行に協力いただける指導者の方々や団体を募りリストアップし）活用（実際にまずは休日の活動に指導者として協力いただく）です。

地域指導者の皆様方には地域移行の趣旨をご理解いただき、多くの皆様に指導者バンクへの登録についてご協力をお願い申し上げます。

問い合わせ先：雲南市教育委員会・学校教育課：TEL40-1072（白石）

指導者バンク作成者：（株）キラキラ雲南

地域文化活動：加茂文化ホール・ラメール：TEL49-8500（吉田）

地域運動部活動：三刀屋文化体育館アスパル：TEL45-9222（神田・大谷）

**指導者バンク登録個票**

NO	記入例	ご記入欄
種目・種別	バスケットボール、吹奏楽：クラリネットなど…	
資格	日本スポーツ協会公認指導員 スポーツ少年団認定指導員 雲南吹奏楽団、音楽講師など …	
氏名	雲南 太郎	
ひらがな	うんなん たろう	
〒	699-1392	
住所	雲南市木次町里方521-1	
TEL	0854-40-1079	
メール	gakkoukyouiku@city.unnan.shimane.jp	
休日の指導	<b>可</b>	
平日の指導	月、水は可 (17時以降)	
指導はメインかサブか？	メインでの指導可、サブでの指導なら可など…	

\* 登録については、上記の指導者バンク作成者：（株）キラキラ雲南担当者へご連絡願います。

この調査で収集した個人データにつきましては、中学校の部活動地域移行に係る事業にのみ使用いたします。

## 中学校部活動の地域移行に関する資料

### ◆国の全体計画（Ⅲが地域移行にかかわる部分）

令和4年12月

## 学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する 総合的なガイドライン(概要)



- 少子化が進む中、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、速やかに部活動改革に取り組む必要。その際、生徒の自主的で多様な学びの場であった部活動の教育的意義を継承・発展させ、新しい価値が創出されるようにすることが重要。
  - 令和4年夏に取りまとめられた部活動の地域移行に関する検討会議の提言を踏まえ、平成30年に策定した「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」及び「文化活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を統合した上で全面的に改定。これにより、学校部活動の適正な運営や効率的・効果的な活動の在り方とともに、新たな地域クラブ活動を整備するために必要な対応について、国の考え方を提示。
  - 部活動の地域移行に当たっては、「地域の子供たちは、学校を含めた地域で育てる。」という意識の下、生徒の望ましい成長を保障できるよう、地域の持続可能で多様な環境を一体的に整備、地域の実情に応じ生徒のスポーツ・文化芸術活動の最適化を図り、体験格差を解消することが重要。
- ※Ⅰは中学生を主な対象とし、高校生も原則適用。Ⅱ～Ⅳは公立中学校の生徒を主な対象とし、高校や私学は実情に応じて取り組むことが望ましい。

### I 学校部活動

教育課程外の活動である学校部活動について、実施する場合の適正な運営等の在り方を、従来のガイドラインの内容を踏まえつつ示す。

(主な内容)

- ・教師の部活動への関与について、法令等に基づき業務改善や勤務管理
- ・部活動指導員や外部指導者を確保
- ・心身の健康管理・事故防止の徹底、体罰・ハラスメントの根絶の徹底
- ・週当たり2日以上休養日の設定（平日1日、週末1日）
- ・部活動に強制的に加入させることがないようにする
- ・地方公共団体等は、スポーツ・文化芸術団体との連携や保護者等の協力の下、学校と地域が協働・融合した形で環境整備を進める

### II 新たな地域クラブ活動

学校部活動の維持が困難となる前に、学校と地域との連携・協働により生徒の活動の場として整備すべき新たな地域クラブ活動の在り方を示す。

(主な内容)

- ・地域クラブ活動の運営団体・実施主体の整備充実
- ・地域スポーツ・文化振興担当部署や学校担当部署、関係団体、学校等の関係者を集めた協議会などの体制の整備
- ・指導者資格等による質の高い指導者の確保と、都道府県等による人材バンクの整備、意欲ある教師等の円滑な兼職兼業
- ・競技志向の活動だけでなく、複数の運動種目・文化芸術分野など、生徒の志向等に適したプログラムの確保
- ・休日のみ活動をする場合も、原則として1日の休養日を設定
- ・公共施設を地域クラブ活動で使用する際の負担軽減・円滑な利用促進
- ・困窮家庭への支援

### III 学校部活動の地域連携や

### 地域クラブ活動への移行に向けた環境整備

新たなスポーツ・文化芸術環境の整備に当たり、多くの関係者が連携・協働して段階的・計画的に取り組むため、その進め方等について示す。

(主な内容)

- ・まずは休日における地域の環境の整備を着実に推進
- ・平日の環境整備はできるところから取り組み、休日の取組の進捗状況等を検証し、更なる改革を推進
- ・①市区町村が運営団体となる体制や、②地域の多様な運営団体が取り組む体制など、段階的な体制の整備を進める
- ※地域クラブ活動が困難な場合、合同部活動の導入や、部活動指導員等により機会を確保
- ・令和5年度から令和7年度までの3年間を改革推進期間として地域連携・地域移行に取り組むこと、地域の実情に応じて可能な限り早期の実現を目指す
- ・都道府県及び市区町村は、方針・取組内容・スケジュール等を周知

### IV 大会等の在り方の見直し

学校部活動の参加者だけでなく、地域クラブ活動の参加者のニーズ等に応じた大会等の運営の在り方を示す。

(主な内容)

- ・大会参加資格を、地域クラブ活動の会員等も参加できるよう見直し
- ※日本中体連は令和5年度から大会への参加を承認、その着実な実施
- ・できるだけ教師が引率しない体制の整備、運営に係る適正な人員確保
- ・全国大会の在り方の見直し（開催回数削減、複数の活動を経験したい生徒等のニーズに対応した機会を設ける等）

### ◆市の地域移行に関する検討のための取組（令和4年度「地域部活動推進事業」：文部科学省委託事業）

## 部活動を地域へ移行する試みを始めます

国は部活動の全国的な地域移行に先駆け、令和5年度より休日の部活動を地域へ移行する取り組みを進めようとしています（以下「地域移行」）。

地域移行することで少子化が進行しても「自分の興味や特性を生かした活動を選択できる」など生徒にとって魅力的な活動になるとともに、教員の負担軽減を図ることもめざしています。今年度、市では国のモデル事業を受け、地域移行に向けた検討を始めます。

具体的には市内中学校を対象に、吹奏楽・ソフトボール・レスリング・テニス・競泳の5種目で休日



の合同部活動や体験会を試行しています。

これにより指導者の育成などに取り組むとともに関係団体と検討を重ね、課題の洗い出しや事業の検証を行っています。

検討会では、部活動顧問から「合同練習に参加した生徒がライバルや目標を見付け、より成長する機会となっている」との声もありました。

合同部活動（体験会）は2月以降も4回予定されています。

【体験会の問い合わせ先】

(株)キラキラ雲南 ☎ 0854-45-9222



【問】学校教育課 ☎ 0854-40-1072

(令和5年度「地域部活動体制整備事業」：文部科学省委託事業)

指導者説明会 1



指導者説明会 2 + 研修会



指導者バンク登録者：78名 (2023.12)



吹奏楽部は、雲南マスタースプログラムの指導者および雲南吹奏楽団の方々に指導いただきました

指導者バンクに登録いただいた地域指導者の方々等の協力で「合同部活動」を実施しました

すべての生徒がやってみたいスポーツ、文化活動に参加できる受け皿づくりをめざして



合同部活動参加者数

運動部活動合計 (延べ)：491名、文化部活動合計 (延べ) 428名

